

大好きな動物園でっ!

幼いころに家族と訪れた初めての「のいち動物公園」。
以来、家族で参加した動物園の裏側探検や季節のイベント、動物たちとの思い出が詰まった大切な場所であり、長いお付き合いという吉井さん一家(野市町)。成長し、徳島で大学生活を送る長女のなつ美さんがこの夏、学芸員の実習にお里帰りします。

もっともっと近付きたい♡

吉井 なつ美さん(22歳・野市町)大学生

8月に学芸員の实習で、小さなころから大好きなのいち動物公園にお世話になります。

今までは見て楽しむだけだったけれど、動物たちともっと深く関われると思うとワクワクしています。頑張ります!



▲家族で「友の会」に入って、いろんな体験をしました。中学生だったこの日はオオアリクイの飼育体験。



▲母・喜美さんはこの4月からボランティアに。現在、ビデオでチンパンジーの双子の育成記録を撮っています。



動物園ってどんな場所?

いろんな国の珍しい動物に会えます。
かわいい動物を触ったり抱いたりできます。
見たことのない動物たちの表情や仕草。
こんなに大きいんだ～。こんなふうに鳴くんだ。
楽しい!おもしろい!
それだけじゃない!私たちのまちの動物園にはたくさんの発見があります。

ZOO動物園があるまち ずーっとっしょ!

楽しくMAP&DATA

さらに魅力アップのいち動物公園の新展示



New face!

開園時間 9:30~17:00
休園日 毎週月曜日(祝日等の場合は翌日)
年末年始(12/27~1/1)
入園料 大人:450円 高校生以下:18歳未満は無料
■詳しくはお問い合わせ、またはホームページをご覧ください
☎ 56-3500
ホームページ <http://www.noichizoo.or.jp/>

置物のように動かない鳥
ハシビロコウ
西日本初!超個性派
キャラクター登場です。



平成2年11月号広報のいち
開園を翌年に控えた「のいち動物公園」への期待を8頁にわたって特集

動物園と共に...

動物と自然、そして人間は、今までも、今からも、決して切り離せない長い付き合いがあります。
「のいち動物公園」は、世界中で動植物が絶滅しつつある現状に、その保護はもちろん、人と自然と動植物が触れ合う空間で、少しでもたくさんの人たちに自然や生命の尊さ、愛情を体験してほしいという願いが込められた施設です。そしてまちは、この動物公園を社会・文化・経済・福祉・環境など、多方面の活性化を図る将来への贈りものとして共に歩む成長を願いました。
現在、来園者数は33万人を超え、動物たちも114種1,088点と、当時の約3倍。
「おらんくの動物公園」への思いは受け継がれ進化していきます。

おらんくの動物園

「おらんくに動物園を!」
昭和54年、県の自然動物公園建設構想に、旧野市町が名乗りを上げました。高知市との誘致合戦から10年の歳月を経て、地の利・時の利を積極的にアピールした三玉山麓に夢いっぱい動物園づくりを開始。4年をかけ、山の地形やそこに植生する木々などの植物を生かした参加・体験型の動物公園が平成3年11月に完成しました。
一次開園当初の展示動物は30種約350点。
開園以来、家族連れやカップルなど幅広い年齢層の人たちが訪れ、遠足や野外学習に多くの子どもたちが目を輝かせています。
「県立のいち動物公園」は今年で19年目を迎えます。

のいち動物公園のシンボルマークになっている **ワオキツネザル**

一般的なサル社会とは異なるカカア天下です。「土佐のはちきん」で知られる元気な高知の女性のイメージにぴったりのキャラクター?

